



「お城を見つめ直す」

移動例会

(於：複合福祉施設 セントラルビオス)

開 会 12:30

司 会 S.A.A・プログラム 宮澤クラブ管理委員長
会長あいさつ 西牧会長

今日は職場見学として宮坂会員の協力を得て、セントラルビオス内のリフォームを終えた音楽ホールで、介護の現場での音楽の役割について聞くことができます。



医療、介護の現場では、いかに利用者の心の安定、癒しを感じていただくかが重要なこととなります。特に短期入院が多い医療では睡眠を如何に心地よくとっていただけるかは、利用者もありの安全、満足度に大きく関わってくるのはもちろんのことですが、夜間の勤務者の充実した労働を得るためにも重要なこととなります。「せん妄」と言う言葉を知っているでしょうか。「入院した途端、急にボケてしまって、自分がどこにいるのか、あるいは今日が何月何日かさえもわからなくなってしまった。」色々なものを探し始めて、徘徊してしまったり、暴力行為をしたりすることもあります。夜間には身体拘束を必要とする状態になることも度々あります。認知症、高齢、男性、重症患者、感染症、アルコール常飲、疼痛、手術後、身体抑制などがリスクファクターと言われている。通常はこういった障害は可逆的で退院する頃にはなくなっているのですが、安心してよいのですが、本人の尊厳また介護者の苦労を考えるとない方がよいのですが、薬だけでコントロールするのがなかなか困難です。音楽療法の効果が期待されております。今日はそんな音楽療法について話を聴けるということで楽しみです。よろしくお祈いします。

幹事報告

藤田幹事

- ①第12回理事会(現・次期合同)報告。
- *5・6月プログラム確認の件。
- *次年度RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)参加者推薦の件。(児野 次期会長エレクト)
- *2018~2019年度ガバナー補佐候補者推薦の件。
- *本会計・特別会計の件。
- *今期決算会計監査指名の件。(塚本会員)

*次年度の件。

※次年度会長方針について。

※予算編成について。 会費(年会費及特別会費)について。借料について。事務局給与、交通費、法定福利費について。

※各記念品について(会員誕生祝…夫婦箸)

※プログラム(案)について。

※職業分類表(案)について。

②次回6月7日終了後、次期クラブ協議会開催。

次期委員長は次年度委員会事業計画の発表をお願い致します。

③各RC例会変更のお知らせ。

[白馬RC]6月6日(火)移動例会(夜間例会；第3回ガバナー補佐訪問・大町RC合同例会)

出席報告

会員総数 21 名(内出席規定適用免除欠席者 3 名)
本日の欠席者 4 名(他 1 名は事前メイキャップ済)
出席率 77.78%
前々回(5/13)修正欠席者 0 名 出席率 100%

ニコニコボックス報告

コメント ◇今日は音楽療法について楽しみにしています。西牧君 ◇宮坂さんお世話になります。暑い中、歩いて来ました。藤田君 ◇本日は、当社が取り組んでいる「音楽のある介護」です。よろしくお祈いします。宮坂君 ◇本日のセントラルビオスでの例会とても楽しみにしていました。昔の友人の家など、クラスの人達とよく遊んだ所です。とても懐かしい。井筒君 ◇宮坂さん、今日はお世話になります。征矢君 ◇イイ音楽、楽しみです。西川君 ◇音楽、楽しみにしています。丸山君 ◇セントラルビオスさんのスタッフの皆様の丁寧なお出迎えが大変印象的でした。素晴らしい社員教育をされているのですね。山崎君 ◇明日から6月です。梅雨はありますよね。中島君 ◇暑くなってきました。今週末は東京、長野、来週は沖縄、岩手。身体がもつかどうか。宮澤君 ◇毎日暑い日が続きます。卓話は熱くなれるでしょうか。児野君 ◇あっち、あっち、あっちです・田内君

なんとなく ◇櫻井君

配布資料；「幹事報告」「会報No.39・40・42」「セントラルスクエア Vol.24」

ビジター受付

[松本RC] 野口 浩君・松沢 宏君・久保田享君
[松本南RC] 粕 信雄君・春日孝介君

～ プログラム ～

講師・演奏者紹介 宮坂会員(セントラルビオス社長)

《講演》「音楽のある介護」 講師;会川高太郎様



音楽のある介護は、音楽の持つ様々な特性や働きを意図的にセラピーのツールとして利用していくことで、心身の健康や、情動の秩序化などに役立つものです。心を癒したり躍動させたり、過去の思い出を懐かしんだりするなどの活動を行い、認知機能の維持、脳の活性化、社会性、意欲、積極性、残存機能の向上などを狙います。

また、音楽はコミュニケーションであり、娯楽であることから、参加する皆様が楽しんで取り組める、それこそが音楽のある介護の大きな魅力です。

超高齢社会を迎えた現在では、お年寄りのための音楽療法が特に注目を集め、生活の質の向上や、生きがい支援、また予防医療や予防介護の一環として、重要な役割を担っています。

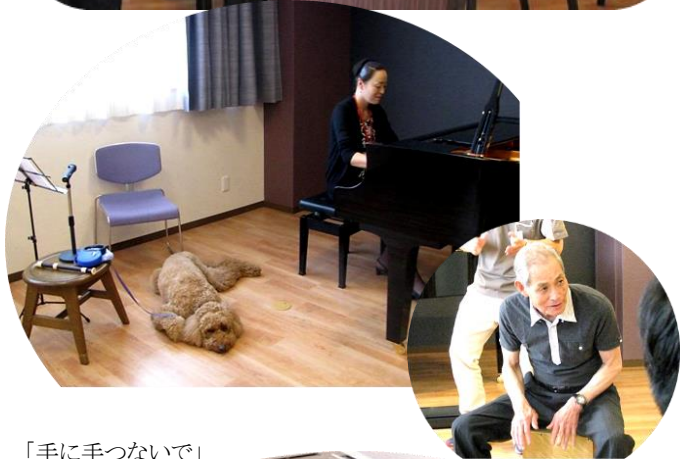
音楽のある介護は、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を使って演奏したりすることで、心身共にリラックスさせるリハビリテーションです。「徘徊」や「暴力」といった認知症の周辺症状（行動・心理症状）の改善、日常生活動作の維持・向上効果が期待できる認知症の非薬物療法の1つです。認知症の方だけでなく、脳卒中の後遺症で精神状態が不安定な方に対しても精神状態を落ち着かせる効果が期待できます。

お年寄りは輝いていた過去を再認識し、相手に認めてもらうことで自尊の感情が高まり、情緒が安定します。高齢になれば、認知力が低下し、新しいものへの興味が無くなり「わからない」ことが増え、段々と自信を失ってきます。そこで回想法により「昔のよき時代」を思い返すことで、再び「自分はスゴイ、今まで生き抜いてきたんだ」と自信を取り戻すきっかけにもなるのです。

認知症の人は昨日の出来事を忘れても、昔のよい思い出は大抵覚えています。これは重度の認知症でない限り、長期記憶は障害されにくい為です。懐かしい記憶を思い起こすことで脳全体を活性化させ、認知症の進行を遅らせる効果が期待されています。

《コンサート》

ピアノ nami 様
リコーダー 宮坂 英子 様
カホン 会川高太郎 様
ギター 工藤 大育 様



「手に手つないで」



閉会 13:30

[写真; 西川]

6月14日例会プログラム/移動例会(納会; 於 梅風閣)

6月;ロータリー親睦活動月間